

広報させば 情報カレンダー 04. 5月



日	月	火	水	木	金	土
かえる展 毎月第1水曜 毎月第2金曜	~5月30日 中小企業金融公庫出張相談(5月は12日) (13~15時、佐世保商工会議所) 発明相談(10時~15時30分、市役所10階)					1 三川内焼・はまぜん祭り~5日 サンセットクルーズ~5日
2	3 憲法記念日	4 国民の休日	5 こどもの日 市亜熱帯動植物園で中学生以下の入園無料、こどもの日クルーズ	6	7 早岐茶市・初市~9日	8
9 春のバラフェスティバル、バードスクール、パバママ・サンセットクルーズ	10	11	12 佐世保市民展~16日 中小企業金融公庫出張相談	13	14 発明相談	15
16 ハーブティーの楽しみ方講習会	17 早岐茶市・中市~19日	18	19 出前保育「みんなよっといでー!」 市立総合病院の健康教室	20	21	22 動物舎探検隊(6月5日も) スピカの講演会
23 サツキ展示会~30日	24	25	26 出前保育「みんなよっといでー!」	27 早岐茶市・後市~29日	28 消費者月間記念講演会	29
30 えぼしシャボン玉まつり	31		6月の主な行事予定 6/1 水道週間~7日、「人権擁護委員の日」特設相談所開設 6/6 動植物園誕生祭 6/7 早岐茶市・梅市~9日 6/8 出前保育「みんなよっといでー!」			

救急・火災
医療機関案内 ☎23-8199
火災情報 ☎0180-999-999

エイズ相談・性感染症相談
専用相談電話 ☎0120-104-783
Eメールアドレス shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談
青少年教育センター ☎22-0077
(毎月第2、4木曜の17時30分~20時30分には、夜間相談も受け付けます)

女性相談
スピカ ☎24-6180
(水曜と祝日を除く毎日、9時~16時)

5月の健康テレホン
県保険医協会 ☎23-4300
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます

月 天気と片頭痛 **火** 天気と神経痛
水 子どものぜんそくは治るのか
木 メニエル病についてご存じですか?
金 歯性感染症~口腔内細菌と全身疾患の関係
土、日 カンジダ膣炎

人のうごき (4月1日現在)

総人口 238,021人 (-1,627)
男 111,779人 (-979)
女 126,242人 (-648)
世帯数 92,957世帯 (-302)

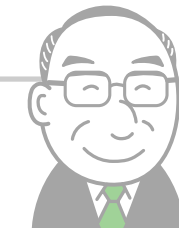
3月中のうごき
転入 2,099 転出 3,665
出生 177 死亡 238

見て、聞くさせば 市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)
NBC(9時25分) NIB(11時25分)
NCC(11時40分) KTN(17時25分)

ラジオ
NBC 毎週日曜日 9時10分
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄



こんにちは市長です。
春高バレーで男女アベック優勝

春高バレー(全国高等学校選抜優勝大会)において、九州文化学園高校バレーボール部、佐世保南高校男子バレーボール部が、1市での男女アベック優勝という史上初の快挙を成し遂げてくださいました。

ことし3月26日、東京の国立代々木競技場の体育館を埋め尽くす大観衆の前で、まさかの夢が実現したのです。私も日帰りで応援に行きましたが、目の前で成し遂げられた劇的優勝に、言い知れぬ感動を覚えました。

4月2日、四ヶ町アーケードをパレードした選手諸君の勇姿に市民から惜しめない拍手が送られ、引き続き島瀬公園で行われた優勝報告会では、やんやの声援が響き渡りました。

選手の天分を存分に伸ばしてくださった監督やコーチの皆さんにも、市長として心から感謝の誠をささげます。名伯楽無しにこの偉業は無かったといっても過言ではありません。

こうして佐世保市のスポーツ文化の土壌に厚みが加わりました。市民の皆さん、これからも若者の活躍に期待し、応援しましょう。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩 466

石のうさぎさん (南風崎町)

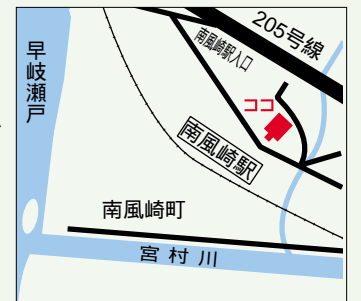
JR大村線南風崎駅の近くに貴船神社があります。境内に石の灯籠が立っていて、その中にほぼ実物大の石で作られたうさぎがチョココンと顔をのぞかせていました。

神さまの使いとして、神社に動物は付きもので、申年のことには山王権現(日吉神社)のお猿さんが話題になりました。ほかに奈良・春日神社の鹿、天神さんこと天満宮の牛、お稲荷さんの狐などがよく知られています。

うさぎもさいたま市にある調宮神社で神使とされています。この神社の旧名は調宮で、古代、朝廷に納めた調物を保管する屯倉があったところ。この神社とうさぎの関係は、ミツギの音がツギ(月)に似通うところから、月にはもちつき



徹底するまで、神や仏の祠、お堂があちこちにたくさんありました。(筒井隆義)



をするうさぎが住むという伝承と重なり、のちに庶民の二十三夜講など月待ち信仰からうさぎを神使とし、うさぎの彫りものが置かれるようになったのです。貴船神社のうさぎは、二十三夜講の人々によって奉納されたものとも考えられますが、もう一つの理由があります。それはうさぎが多産系で、次々にたくさんの赤ちゃんを産むところから、子受け祈願のため像を刻んで神社に奉納する習慣が広く各地で行われていたのです。

医学、科学とも未発達時代の、わたしたちの祖先はとも信心深く、人の力や知恵が及ばないことは、すべて神仏に祈願していました。明治になって、太政官布告によって神仏分離が